

# 企業版ふるさと納税寄附金寄附企業のご紹介

市では、「つながり」をきっかけとした新たな官民連携の形の1つとして、市が行う地方創生プロジェクトに「企業版ふるさと納税」を通して、企業の皆さまにご協力いただいています。

今回、感謝状を贈呈した企業の皆さまをご紹介します。

※掲載の了承を得られた企業の皆さまのみ掲載

## 大菱電気工業株式会社 様(佐世保市)



1947年5月に創業され、電気設備工事、電気通信設備工事、機械設備工事など建設総合設備を行われている企業です。

本市においても多くの工事を施工されており、すべての人が安心安全に、心豊かに暮らせる社会づくりと地域の発展につながるよう貢献できればとの想いでご寄附をいただきました。

2/23  
(金)

### 小学生が防災について学ぶ

松浦市少年消防クラブ合同研修会



同研修会が松浦市消防本部で行われ、市内小学校から45人のクラブ員が参加しました。

松浦市少年消防クラブは市内全小学校の児童を対象に9クラブで結成され、防火・防災について楽しく学び活動しています。

今回は指導を受けながら、学校からの避難ルートや行動を確認する「逃げ地図」を作成。

また、災害時のボランティア研修としてアルファ米を使用したカレーの炊き出しを行うなど防災に関する知識を深めました。

2/16  
(金)

### 集めた食料品を寄贈

フードドライブ贈呈式



長崎経済同友会佐世保地区（吉澤俊介代表幹事）と第一生命保険株式会社佐世保営業支社（浦部康志支社長）は、家庭などで保管されたままとなっている食品を持ち寄ってもらった「フードドライブ」で集めた食品を市へ寄贈しました。

今回は、企業34社の社員などから集められたお米、レトルト食品、お菓子、調味料などの食料品が120サイズ段ボール25箱分寄贈され、市の子育て支援に活用されました。

3/2  
(土)

## 買い物から始める料理教室



福島地区青少年健全育成会（前田伸二会長）は福島公民館で福島養源小学校5、6年生を対象にした料理教室を開催しました。

10人が参加し、志水周さん（福島・播磨釜）指導の下、サラダ巻と豚汁作りに挑戦。

食材は、子どもたち自ら農産物直売所「うるうる福島」に行き購入した野菜・お肉を使用。

サラダ巻具材のメインとなる卵焼きを一人ずつ焼き、思い思いの具材を巻くなど個性豊かな形と彩りを演出し、料理の楽しさを味わいました。

2/24  
(土)

## 熱戦の中、交流楽しむ

第25回ソフトバレーボール大会



福島体育館で開催された同大会には18チーム約110人が参加しました。

参加者は家族やチームメイトの声援を受けながら熱戦を繰り広げ、参加者同士で交流を深めながら楽しいひとときを過ごしました。

上位の結果は次のとおりです。

## 【フリーの部】

- ① X（エックス）チーム
- ② BLOW II チーム
- ③ RITSU & RIRA チーム、昔のエース+チーム

3/3  
(日)

## 春の訪れを甘味で感じる

まつうら・春のお菓子祭り



松浦ならではの材料やデザインを使ったお菓子に出会える松浦お3時プロジェクト主催の同イベントが（道の駅）松浦海のふるさと館漁村体験学習施設で開催されました。

会場には、人気商品以外にも、当日限定販売の春のお菓子など、お店のこだわりが詰まった商品が並び、プロから学べるお菓子作り体験なども行われました。

訪れた人たちは、作ったお菓子や購入した商品を味わいながら、イベントを楽しんでいました。

3/2  
~3

## 色鮮やかなつばきを楽しむ

第49回福島つばき祭り



同イベントが福島武道館と武道館前お祭り広場で開催され、県内外から多くの人でにぎわいました。

武道館では、ツバキの盆栽や鉢物の展示、ツバキの花苗販売や園芸指導のほか、町内・小中学生によるツバキを題材にした作品の展示などがありました。

また、広場では、つばき油などの特産品の販売や軽食コーナーなどもあり、訪れた人は買い物を楽しみながら、会場一面の「市の花ツバキ」に見惚れていました。